

1年生 心肺蘇生法講習会(令和4年11月15日)

11月15日(火)、1年生は保健体育の授業で「心肺蘇生法講習会」を開催しました。講師は新潟 PUSH 認定インストラクターで、上越地域消防局の丸山智彰様です。「突然死」で亡くなる方が年間約7万人いるそうで、AEDを使用することで人命が救われるケースも多いそうです。そこで今回は①胸骨圧迫、②AEDの使い方、を2人1組で学びました。心肺停止の状態でも1分経過する毎に蘇生する確率が10%低下するということですので、5分以内にAEDを使用することが大切であることを学び、またAEDは音声ガイダンスがあるので、落ち着いて音声に従い行動することも重要であることを学びました。

最後に人命救助に際し、①胸を押すこと(胸骨圧迫)、②AEDのボタンを押すこと、③自分の背中を押す(勇気を出して行動をはじめること)が重要であり、助かる命を助ける方法がこの3つのPUSHであるということをお忘れずに生活してほしいと思います。

